

「平成 27 年度第 1 回阿見町外部評価委員会」議事概要

審議会等の名称	平成 27 年度第 1 回阿見町外部評価委員会
開催日時	平成 27 年 6 月 22 日（月） 午後 2 時から午後 4 時まで
開催場所	阿見町役場 仮設庁舎 2 階会議室
議事次第	<p>1. 開会</p> <p>2. あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <p>（1）今年度の外部評価委員会の進め方</p> <p>（2）評価対象事業の選定</p> <p>4. その他</p>
出席者	<p>【委員】</p> <p>米倉政実委員、山口忍委員、橋本英之委員、齋藤光子委員、吉原一行委員、井上正道委員 計 6 名（欠席なし）</p> <p>【町】</p> <p>横田総務部長</p> <p>企画財政課：小口課長、川原係長、高橋主任</p>
公開/非公開の別	公開 *傍聴者：なし
会議内容	<p>議題（1）、（2）それぞれ事務局より説明後、質疑応答が行われた。内容は以下のとおり。</p> <p>（1）今年度の外部評価委員会の進め方について</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10 事業のヒアリングを 3 日間で行うことについては、1 日目は 3 事業、2 日目は 3 事業、3 日目は 4 事業で良いと思うがどうか。 ・（異議なし） <p>（2）評価対象事業の選定について</p> <p>【委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局で絞り込んだリストは問題ないか。 ・（異議なし） ・そこから事業の選定を行うためには、11 部署から 10 事業に絞るため、1 部署は外さなくてはならない。 ・事業の内容をすべては分からない。事務局に選んでもらって良いと思うが。 ・委員会の自主性からも、委員の意見を聞きながら選びたい。 ・国保年金課の特定健康診査等事業は、将来的な方向も現状の規模で継続となっていて、事業開始年度が平成 20 年度で 10 年経っていない。また、金額は大きいですが、健康診断の委託料や郵送料であり、敢えて取り上げなくても良いのでは。 ・障害福祉課の事業は、一部改善となっているので、どういう改善がされるのか分からないが、これ以上何か改善するところはあるのかという疑問はある。 ・図書館は自分もよく行くので分かるが、効率的に運営しているように見える。事務事業としては、図書を選定、図書館サービス、視聴覚とあるが、一体的なもの。もし評価を行うとすれば、一本にまとめてはどうか。あるいは、敢えて評価対象にしなくても良いと思う。 ・社会福祉課の事業は、金額も大きい上、いつから始まっているかも分からないというもの。2 事業取り上げても良いと思う。

- 社会福祉課の民生委員協議会事業は、民生委員の方は苦勞が多いとは思いますが、手当とは別に協議会への補助金というのが良いのかという話がある。
- 生涯学習課の公演会等委託事業は、歌謡曲の歌手を呼ぶという事業。それを町の事業としてやる必要があるのか。前回は有名人を呼んでコストがかかったと思うが、そこにお金をかけるべきか、それとも地元の歌手に出してもらおうとか、いろいろ議論はあると思うが、取り上げてみたらどうか。
- 予科練平和記念館の事業は評価に関わらず続けていく事業かと思う。
- 社会福祉課のシルバー人材センター助成事業は、人件費の一部を負担するだけなので、あまり論点は無いと思う。
- 社会福祉課のシルバー人材センター助成事業は、発展的にしていかななくてはならない。町からの補助があるが、利用者からも負担してもらっている。改善の余地は本当にないのかと思う。
- 社会福祉課の町単位老人クラブ補助事業は、拡大して継続とあり、なぜ拡大すべきものなのかを見たい。民生委員協議会事業も額が大きいので、評価対象としたい。
- 児童館の放課後児童健全育成事業は、内容としては委託だろう。
- 委託の事業でも、委託した内容に対して成果が上がっているかどうかを町がきちんと評価しているかという観点がある。委託だからと言って評価しなくて良いとは限らない。
- 選定において、予算の大きい事業というのも基準の一つにしてはどうか。影響も大きいだろう。
- 国保年金課の特定健康診査等事業は、受診率を上げなければならない。お金をかけていて受診率30%代で良いのか。
- 学校教育課の教育振興事務事業、教育設備教材整備事業は中身が同じように思えるが、何が違うのか。一体的に評価を行ってはどうか。事業を統合としても、両方の事業をヒアリングしてみないと分からない。
- 複数の事業という提案があったが、まずは1事業をヒアリングし、他の事業と集約させる提案をしても良いだろう。
- 学校給食センターの給食食材調達事業は、他事業と統合とあるが、本来ならば給食調理事業と一体的だろう。
- 指導室の教育相談センター運営事業は、人件費のみであり、評価するのは難しい。
- 予科練平和記念館は、観光の観点からも、もっと積極的に拡大していても良いと思う。事業は続けて欲しい。
- 予科練平和記念館は、収支でいうと赤字。それに対する考え方も聞きたい。教育事業なのか、観光なのかという話もある。公益法人のようなものが運営するなども考え方だろう。
- (町単位老人クラブ補助事業、通常保育事業、特定健康診査等事業、地域支援事業、地域生活支援事業、教育振興事務事業、給食食材調達事業、公演会等委託事業、図書選定購入事業、運営事業の10事業を選出)
- 外部評価は来年、再来年と続けていくが、一度外部評価の評価が終わったら、その後は元通りではいけない。昨年度行った8事業は継続的な改善、対応が必要。昨年度に方針を出しているが、それに対して、担当課でどう対応したか、今年どうするかを挙げていただきたい。同じ事業は2度評価を受けることは無いだろうと安心するのではなく、緊張感を持ってもらわないと意味が無い。評価を受けた結果、今までとは変えたところ、変えなかったところ、あるいは新たな取り組みなどを具体的に、1行でも2行でも良いからレスポンスが欲しい。

【事務局】

- ・昨年度評価を行った事業のフォローアップについては事務局で検討する。
- ・（日程について事務局より説明）